

# 日本学術振興会

## 第2回HOPEミーティング 参加者募集要項

平成21年3月  
独立行政法人 日本学術振興会

### 1. 趣旨

独立行政法人日本学術振興会（Japan Society for the Promotion of Science: JSPS）は、アジア太平洋地域から選抜された優秀な大学院生を対象として、彼らがノーベル賞受賞者等の世界の知のフロンティアを開拓した人々との対話、同世代の研究者との交流、さらには人文社会分野の講演や芸術プログラムを通じて、より広い教養の涵養と人間性の陶冶を図り、将来のアジア太平洋地域の科学研究を担う研究者として飛躍する機会を提供するため、平成19年度よりHOPEミーティングを開催しています。

この度は、第2回HOPEミーティングへの日本国内からの参加者を募集します。本会議の参加者には、上述のようなHOPEミーティングの趣旨を理解し、アジア・太平洋地域の多様な文化や価値観を尊重しつつ、同地域の科学研究の将来を担う人材として積極的にこの交流事業に参画することが期待されます。

\*第2回HOPEミーティングの詳細については、参考「第2回HOPEミーティング概要」を参照

### 2. テーマ

Art in Science

### 3. 対象分野

化学（及び物理学、生物学を含む関連分野）

### 4. 使用言語

英語

## 5. 会議の開催期間

2009年9月27日（日）～10月1日（木）

（9月27日：受付、10月2日：解散）

## 6. 本会が負担する経費

本会規程に基づき、次の経費を負担します。

(1) 国内所属機関から会場への往復交通費

\*海外機関に所属する方の日本国内までの往復航空券の費用は本会は負担いたしません。

(2) 宿泊費および食費

(3) その他、研究所見学等の参加費

## 7. 採択予定数

約30名以内

## 8. 申請資格

本会議へ参加を希望する者は、下記の(1)または(2)、及び(3)を満たす必要があります。また、過去に本会議に参加した者は対象としません。

(1) 申請時に我が国の研究機関\*（ただし、文部科学省科学研究費補助金の申請資格のある機関に限る。）（以下、「国内の研究機関等」とする。）に所属する博士課程学生であること（国籍は問いません。）

我が国の大学等学術研究機関、国公立試験研究機関等\*

我が国の大学、大学共同利用機関等、国公試験研究機関、学術研究・研究開発活動を行う独立行政法人・政府出資法人・民法第34条により設立された法人又は民間研究機関（平成14年度以降、連携大学院として大学の連携先として教育研究実績をあげている機関の他、文部科学省科学研究費補助金の申請資格を有する機関で、若手研究者養成に実績等があるとして本会が認めたもの。）

(2) 日本国籍を持つ者又は我が国に永住を許可されている外国人で、海外において大学等の学術研究機関等（以下、「海外の研究機関等」とする。）に所属する博士課程学生であること

- (3) 化学（及び物理学、生物学を含む関連分野）において、英語での質の高いポスター発表及び討論が可能であること

## 9. 募集方法について

本事業の参加者は以下の3通りの方法により募集します。

- (1) グローバル COE プログラム、世界トップレベル研究拠点プログラムの拠点代表者による推薦（拠点推薦）

- ・グローバル COE プログラムまたは世界トップレベル研究拠点プログラムに採択された拠点から、1 拠点につき2名以内を拠点代表者の推薦により受け付けます。
- ・被推薦者は下記（2）の機関長推薦の対象になりません。
- ・申請者個人から本会へ直接提出した推薦書は受け付けません。

- (2) 我が国の研究機関等の機関長による推薦（機関長推薦）

- ・国内の研究機関等から、1 機関につき5名以内を、機関長の推薦により受け付けます（なお上記（1）の拠点推薦による推薦人数はこの内に含まれません）。
- ・申請者個人から本会へ直接提出した推薦書は受け付けません。

- (3) 海外の研究機関等に所属する申請者による個人申請

- ・海外の研究機関等に所属している申請者は、本会に直接申請してください。なお、滞在国から日本への往復の航空券の費用は本会は負担いたしません。

## 10. 申請手続

- (1) グローバル COE プログラム、または、世界トップレベル研究拠点プログラムの拠点代表者による推薦（拠点推薦）

- 1) 採択拠点が提出する書類

- ①様式1：HOPE ミーティング参加候補者拠点推薦名簿・・・原本1部
- ②様式3：第2回HOPE ミーティング参加申請書・・・原本1部

\*様式2は拠点推薦の場合不要です。

## 2) 応募方法

申請者は、上記の様式3を必ず所属拠点を通じて提出してください。申請者個人から本会へ直接提出した申請書は受け付けません。

拠点ごとに、様式1のリスト順に様式3を並べ、様式1を表紙として下記受付期間内に本会に郵送又は持参にて提出してください（郵送の場合は封筒に「HOPE ミーティング推薦書類在中」と朱書きして下さい。）。

## (2) 我が国の研究機関等の機関長による推薦（機関長推薦）

### 1) 機関の事務局が提出する書類

①様式2：HOPE ミーティング参加候補者機関推薦名簿・・・原本1部

②様式3：第2回HOPE ミーティング参加申請書・・・・・・・・・・原本1部

\*様式1は機関長推薦の場合不要です。

### 2) 応募方法

申請時に国内の研究機関等に所属している申請者は、上記の様式3を必ず所属機関を通じて提出してください。申請者個人から本会へ直接提出した申請書は受け付けません。

機関ごとに様式2のリスト順に様式3を並べ、様式2を表紙として下記受付期間内に本会に郵送又は持参にて提出してください。（郵送の場合は封筒に「HOPE ミーティング推薦書類在中」と朱書きして下さい。）。

## (3) 海外の研究機関等に所属する申請者による個人申請

### 1) 申請者が提出する書類

様式3：第2回HOPE ミーティング申請書・・・・・・・・・・原本1部

### 2) 応募方法

申請時に海外の研究機関等に所属している申請者は、上記様式3を本会に郵送にて提出してください（郵送の場合は封筒に「HOPE ミーティング推薦書類在中」と朱書きして下さい。）。

## 11. 本会の受付期間

2009年4月13日（月）～4月24日（金）17：30本会必着

〔注〕

- ①上記の受付期間は所属機関から本会に申請書類が提出される期限であり、申請者が所属拠点または所属機関に申請書を提出する期限については、それより前である可能性があるため、注意してください。
- ②海外から個人申請する場合、受付期間内に書類が到着するよう余裕をもって送付してください。また、郵便事情等による申請書の紛失、遅配については、本会では責任を負いません。

## 12. 選考及び結果の通知

### (1) 審査方針

主な審査方針は、以下のとおりです。

- ① 優れた学術業績があり、科学的知識とその利用の社会的影響について熟知していること。
- ② 科学及び研究に広範かつ真摯な興味を持っていること。
- ③ 当該分野での研究の将来を担う優れた研究者となることが期待できること。
- ④ 本会議への参加により、共同研究や人的ネットワーク形成に寄与する将来性が見込めること。
- ⑤ 交流や議論に積極的に参加する意欲及び十分な英語能力があること。

### (2) 選考結果の通知等

参加者の選考は第2回 HOPE ミーティング組織委員会による書面審査、及び合議審査によって行います。その結果については、平成21年5月下旬頃に、国内に所属機関等がある申請者については拠点代表者または所属機関長宛に通知します。海外の研究機関等に所属する者は、本人へ直接通知します。

なお、選考結果に関する個別の問い合わせには応じません。

### 13. 参加決定までの流れ

2009年

4月13日～4月24日	申請受付
4月下旬～5月上旬	書面審査
5月中旬	第2回HOPEミーティング組織委員会 (参加者の決定)
5月下旬	審査結果の通知・公表
6月～9月	会議参加の準備(必要書類の提出等)
9月27日～10月1日	第2回HOPEミーティング

### 14. 報告書の提出

会議終了後、2ヶ月以内に本会からの指定の書式に基づき、報告書を提出してください。

### 15. 不正使用等に対する措置

競争的資金等の不正使用等や教育研究活動における不正行為(ねつ造、改ざん、盗用等)、すべての人権侵害行為(人種差別、性差別、セクシュアルハラスメント、アカデミックハラスメント、パワーハラスメント、職権濫用、ネグレクト等)等の非違行為、法令違反等が認められた場合は、参加の取消し、既に支給された資金・経費等の一部又は全部の返還等のしかるべき措置を行います。

競争的資金等の適正な使用等については、別紙(「競争的資金等の適正な使用等について」)をご参照ください。

### 16. 個人情報の取扱い

申請書類に含まれる個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び本会の「個人情報保護規定」に基づき厳重に管理し、日本学術振興会第2回HOPEミーティングの業務遂行のために利用(データの電算処理及び管理を外部の民間企業等に委託して行わせるための個人情報の提供を含む。)します。

なお、採用された者の氏名、所属機関及び参加報告等が、本会のホームページや会議結果報告書等において公表されるほか、関係機関へ提供されること

があります。

## **17. その他**

本会は、本会議参加期間中（参加のための移動期間を含む。）に生じた傷害、疾病等の事故について責任を負いません。

## **18. 科学技術振興調整費事業について**

本事業は、科学技術振興調整費受託事業「アジア科学技術コミュニティ形成戦略」の一環として実施するものです。そのため当会の通常の規定に加え、科学技術振興調整費の規定やルールを踏まえて事業を実施します。

## **19. 申請書類の提出先及び問合せ先**

〒102-8471 東京都千代田区一番町6番地（住友一番町ビル2F）  
独立行政法人 日本学術振興会  
国際事業部 地域交流課 「HOPE ミーティング」担当  
TEL：03-3263-2414 E-mail：hope-meetings@jsps.go.jp  
事業ホームページ：http://www.hopemeetings.jp

## 第2回 HOPE ミーティング

### 申請書作成要領

- I. 申請書の作成について
- II. 申請書の記入について
- III. 申請書の添付書類について

#### I. 申請書の作成について

- (1) 申請書は A4 版、両面コピーとし、正本 1 部を提出してください。
- (2) 所定の様式の改変、本会が指定した書類（下記 III）以外の添付はできません。  
これらが守られていなければ不備の申請書と見なします。内容に矛盾のあるもの、記入漏れなどについても不備と見なします。もし該当するものがあつた場合には、審査にあたり不利益を生じることがあります。
- (3) 申請書を手書き等にて作成する場合、下記の点に注意すること。
  - ・ワープロソフトにより編集しない場合は、所定の用紙に直接印字すること。（所定の用紙に「切り貼り」することはできるだけ避けること。はがれ落ちて申請者に不利益が生じてても、本会では責任を負わない。）
  - ・手書きで記入する場合は、黒インク又は黒ボールペンで丁寧に記入すること。
  - ・記載内容を訂正する場合は、(2重線)で消し、書き直した上、訂正印を押すこと。（修正液での訂正は不可。）

#### II. 申請書の記載について

##### 申請する分科・細目等 ((1) ~ (4))

項目	記入要領
(1) 申請方法	該当する項目に○印を付すこと。
(2) 領域・分科・細目	分科・細目コード表を参照して記入すること。
(3) 分科細目コード	
(4) 受付番号	何も記入しないこと。

##### 1. 申請資格等

申請者	記入要領
(5) 氏名・漢字	<ul style="list-style-type: none"><li>・申請者の戸籍に記載されている氏名を記入すること。手書きで記入する場合は楷書で記入することが望ましい。</li><li>・研究上、通称名（旧姓等）を使用している場合は、戸籍に記載されてい</li></ul>



	<p>る姓の後に（ ）書きで通称名（旧姓等）を記入することもできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・氏名は漢字等により記入すること。</li> <li>・姓と名の間は1字あける。</li> </ul>
(6) 氏名・フリガナ	姓と名の間は1字空ける。
(7) 氏名・ローマ字	<p>最初の1文字は大文字、あとは小文字で記入すること。</p> <p>(例) Gakushin Taro</p>
(8) 生年月日	2009年4月1日現在の歳を記入すること。
(9) 性別	該当する方に○印を付すこと。
(10) 国籍	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どちらかを選ぶこと。</li> <li>・【海外の所属機関から申請する場合】国籍がその他の場合には、永住許可がなければ申請資格がないので、日本に永住を許可されていることを証明する「外国人登録済み証明書」又は「外国人登録原票記載事項証明書」を添付すること。</li> </ul>

現在の所属機関	記入要領
(11) 機関名	機関名、部局名を正確に記入すること。
(12) 部局名	
(13) 学歴	それぞれの年月日、及び、大学名等を正確に記入すること。なお、年は西暦で記載すること。
(14) 研究テーマ	現在の研究テーマを和文・英文でそれぞれ記入すること。
(15) 本会他事業の採用状況	本会の他の事業に現在採用中もしくは過去5年間に採用されたことがある者は、当該事業名、研究課題、採用期間等を記入すること。

推薦書作成研究者	記入要領
(16) 氏名	<p>&lt;漢字&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推薦者の戸籍に記載されている氏名を記入すること。手書きで記入する場合には楷書で記入することが望ましい。</li> <li>・研究上、通称名（旧姓等）を使用している場合は、戸籍に記載されている姓の後に（ ）書きで通称名（旧姓等）を記入することもできる。</li> <li>・氏名は漢字等により記入すること。</li> <li>・姓と名の間は1字あける。</li> </ul>
	<p>&lt;フリガナ&gt;</p> <p>姓と名の間は1字空ける。</p>
	<p>&lt;ローマ字&gt;</p> <p>最初の1文字は大文字、あとは小文字で記入すること。</p> <p>(例) Gakushin Taro</p>
(17) 機関名	機関名、部局名を正確に記入すること。また、種別についてはいずれかを

(18) 部局名、種別	選ぶこと。種別がその他の場合には、( ) の中に正確な種別を記入すること。
(19) 職名	いずれかを選ぶこと。また、その他の場合には、( ) の中に正確な職名を記入すること。

申請者自宅等	記入要領
(20) 自宅住所	自宅住所、郵便番号、電話、携帯電話、FAX、e-mail を記入すること。ない場合は、記入する必要はない。なお、変更が生じた場合は、直ちに届けること。
(21) 連絡先	審査結果通知先（海外からの個人申請のみ。所属機関を通じて申請した者については所属機関に通知を行う）、及び、参加決定後の連絡先等を指定すること。いずれかを選び○印を付すこと。
(22) 郵便番号	正確に記入すること。
(23) 電話番号	確実に連絡の取れる電話番号を記入すること。
(24) 住所	都道府県名から記入すること。
(25) 機関名・部局名・研究室等	連絡先で「所属機関」か「その他」を選んだ場合に記入すること。

## 2. ポスター発表を予定している研究内容

本会議にてポスター発表を予定している研究のabstractを英文にて記入すること。なお、枠内に収まれば、図やグラフを用いて説明しても構わない。

## 3. ポスター発表に関連する論文及び学会での発表状況

記入要領	
記入例	下記はあくまでも一例であり、体裁は申請書に記載されている注記を踏まえた上で適宜調整すること。
(1) 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文及び著書 （査読有り） 1) 学振太郎、半蔵門花子、・・・「(題目)」、『(掲載誌名)』、〇〇出版社、〇号、pp57-62, 2003 2) 麴町次郎、学振太郎、・・・「(題目)」、『(掲載誌名)』、〇〇出版社、〇号、pp33-39, 2008(採録決定済み・証明書添付)	採録が決定された者については、そのことを証明できる文書、又は電子メール等の写しを添付すること。（論文は添付しないこと）
注：著書の所属・職（論文発表時） 1) 〇〇大学△△研究科大学院生 2) 〇〇大学△△学部助手	著者の所属及び職名等を記載すること。

(2) 学術雑誌又は商業紙における解説・総説

1) 学振太郎、・・・「(題名)」、『(掲載誌名)』、〇〇出版社、〇号、pp40-45, 2006

(3) 国内学会・シンポジウム等における発表

(口頭発表査読無し)

1) 〇学振太郎、半蔵門花子、・・・「(題名)」、「(学会名)」、No. 200、仙台、2004年9月

(4) 特許等

特許以外に受賞歴があればここに記載すること。

(公開中)

1) (特許の番号)号、「(名称)」、麴町次郎、学振太郎、2004年4月

#### 4. 本会議に参加する目的・達成目標など

本会議へ参加する目的、達成目標等を簡潔かつ具体的に英文にて記入すること。

#### 5. 英語での研究活動の実績・目標等

記入例 下記はあくまでも一例であり、適宜調整すること。

(1) 留学経験

イギリス 〇〇大学留学、2001. 4.1~2002.3.31

(2) 国際会議等の参加実績

(口頭発表査読有り)

1) Gakushin T, Hanzoumon H, …「(題名)」、『(学会名)』、BB-11, London, U.K. (June 2005)

パンフレット等に記載された際に付された番号があれば記載すること。

※主な語学検定試験結果

- ・過去に語学能力検定試験を受けた者は、試験の名称・級/スコア・取得年月を記入すること。
- ・3種類以上の試験を受けている場合は、成績の良い試験結果を申請者自ら選択の上、記入すること。
- ・スコアに有効期限がある試験(例: TOEFL)について、有効期限が過ぎた場合も含めて記入して良い。
- ・試験の級/スコアの証明書(コピー可)を添付すること。

#### 6. 推薦書

- ・申請者の指導教官が作成すること。なお、評価者(推薦者)は1名に限る。
- ・推薦者が外国人の場合は、英語での推薦書作成も可とする。
- ・推薦者署名は直筆とする。

### III. 申請書の添付書類について

下記の書類を申請書に添付すること。

(1) 外国人登録済証明書【該当者のみ】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 正本 1 部

- ・申請時に海外の研究機関等に所属する外国人は、日本に永住を許可されていることを証明する外国人登録済証明書又は外国人登録原票記載事項証明書を添付すること。

(2) 採録決定を証明する書類【該当者のみ】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 正本 1 部

- ・「3. ポスター発表に関連する論文及び学会での発表状況」で、まだ印刷されていないが、採録決定（アクセプト）の通知を受けているものについては、そのことを証明する書類を添付すること。また、印刷されていない論文で、当該証明書を添付できないものについては、この欄に記載できない。
- ・証明書類は申請書提出時に添付できるものに限る。申請書提出後、改めて追加することはできない。
- ・証明書類は原則として正本を添付すること。

ただし、当該出版社等が採録決定について電子メールや Web 上による通知しか行っていない場合は、それを印刷したもので代えても良い。その際、論文採録決定の証明に関する記述と、論文本体が一体となっている場合など、全体の枚数が多くなっているものについては、全てをそのまま添付するのではなく、「論文タイトル」「執筆者」「該当論文を採録決定している旨の記載」の部分を抜粋し、両面コピー 1～2 枚程度にまとめて添付すること。その際、「採録証明に関する部分のみ抜粋」等の説明を余白に手書きで記入すること。

- ・印刷済みのものについては、採録決定を証明する書類を添付する必要はない。
- ・論文の抜き刷りは添付しないこと。

(3) 語学能力検定試験の証明書【該当者のみ】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 正本 1 部

- ・「5. 英語での研究活動の実績・目標等」の「※主な語学能力検定試験結果」欄に記入した場合のみ、試験の級／スコアの証明書（コピー可）を申請書に添付すること。
- ・提出した証明書は申請者へ返却しないので、その旨留意すること。

キーワード付「分科・細目表」

このキーワードは、当該分科・細目の内容等を、申請者が理解しやすくするために例示として付したものであり、キーワードに掲げていない内容を当該分科・細目から排除するものではない。

なお、分科・細目名から内容等が明らかな分科・細目については、特にキーワードを付していない。

	分科	細目	分科・細目コード	キーワード		分科	細目	分科・細目コード	キーワード
総 合 領 域	情報学	情報学基礎	1001	計算理論、言語理論、プログラム理論、計算量理論、アルゴリズム理論、暗号系、情報数論、数理論理学、離散構造	総 合 領 域	情報学	統計科学	1010	調査・実験計画、多変量解析、時系列解析、分類・パターン認識、統計的推測、計算機集約的統計、統計的予測・制御、モデル選択、工業統計、医薬生物統計、行動計量分析、数理解ファイナンス、データマイニング、空間・環境統計、統計システム、統計教育
		ソフトウェア	1002	アルゴリズム、データ構造、プログラム言語、コンパイラ、オペレーティングシステム、ソフトウェア工学、ソフトウェアエージェント			生体生命情報学	1011	〔生物情報科学〕 バイオインフォマティクス、ゲノム情報処理、プロテオーム情報処理、コンピュータシミュレーション、システム生物学 〔生命体システム情報学〕 生体情報、ニューロインフォマティクス、脳型情報処理、人工生命システム、生命分子計算、DNAコンピュータ
	計算機システム・ネットワーク	1003	〔計算機システム〕 計算機アーキテクチャ、ハードウェア設計、設計自動化、並列計算機、データベースマシン、情報機器	神経科学		神経科学一般		1101	1101
			〔情報ネットワーク〕 分散システム、情報ネットワーク、情報通信システム、セキュアネットワーク、ネットワークコンピューティング、ネットワークエージェント、安全性・信頼性				神経解剖学・神経病理学		
	メディア情報学・データベース	1004	〔データベース・メディア・情報システム〕 データベース、コンテンツ、マルチメディア情報処理、情報システム、WWW、モバイルシステム、情報検索、グラフィクス、可視化情報学、芸術情報	神経化学・神経薬理学		1103		1103	分子・細胞・神経生物学、神経系の発達と老化、神経伝達物質と受容体、細胞内情報伝達、精神・神経疾患の病態と治療、神経損傷の再生・修復、神経機能の可塑性、中枢・末梢神経薬理学
	〔ユーザインターフェイス〕 ヒューマンインターフェイス、ユーザモデル、グループウェア、バーチャルリアリティ、ウェアラブル機器		神経・筋肉生理学				1104		
	知能情報学	1005		探索・論理・推論アルゴリズム、学習と発見、知識ベース・知識システム、人工知能アーキテクチャ、知能情報処理、自然言語処理、知識発見とデータマイニング		実験動物学		実験動物学	1201
	知覚情報処理・知能ロボティクス	1006	〔知覚情報処理〕 パターン認識、画像情報処理、音声情報処理、コンピュータビジョン、情報センシング、センサ融合・統合、センシングデバイス・システム	人間医工学		医用生体工学・生体材料学	1301	1301	〔医用生体工学〕 医用・生体画像、生体システム、生体情報・計測、バイオメカニクス、人工臓器工学、生体物性、生体制御、医用光・熱工学、医用マイクロ・ナノマシン、フィジオーム 〔生体材料学〕 医用材料、歯用材料、生体機能材料、細胞・組織工学、生体適合材料、インテリジェント材料、バイオコンジュケイト、再生医工学材料、薬物伝達システム
	〔知能ロボティクス〕 知能ロボット、行動環境認識、モーションプランニング、感覚行動システム、自律システム、デジタルヒューマンモデル、アニメーション、実世界情報処理、物理エージェント、インテリジェントルーム		情報図書館学・人文社会情報学						
	感性情報学・ソフトウェアコンピューティング	1007		〔感性情報学〕 感性原理、感性情報処理、感性素材計測・評価、感性官能計測・評価、感性社会学、感性デザイン、感性データベース		〔人文社会情報学〕 文学情報システム、歴史情報システム、情報社会学、社会情報システム、法情報学、法律情報システム、情報経済学、経営情報システム、教育情報システム			
認知科学	1009		認知心理学、比較認知心理学、認知哲学、心の理論、感情とその計算機モデル、社会認知科学、脳認知科学、認知言語学、行為と行動の相互作用						

	分科	細目	分科・細目コード	キーワード
総 合 領 域	人間医工学	リハビリテーション科学・福祉工学	1303	〔リハビリテーション科学〕 リハビリテーション医学、障害学、運動療法学、物理療法学、作業療法学、言語聴覚療法学、医療社会福祉学、人工感覚器 〔福祉工学〕 健康・福祉工学、生活支援技術、介護支援技術、社会参加、バリアフリー
	健康・スポーツ科学	身体教育学	1401	〔身体の仕組みと発達メカニズム〕 教育生理学、身体システム学、生体情報解析、脳高次機能学、身体発育発達学、感覚と運動発達学 〔心身の教育と文化〕 感性の教育、身体環境論、運動指導論、体育科教育、フィットネス、身体運動文化論、身体性哲学、死生観の教育、身体心理学、情動の科学、野外教育、舞踏教育、女子教育、成年・老年期の体育、武道論、運動適応生命学
	スポーツ科学	スポーツ科学	1402	〔スポーツ科学〕 スポーツ哲学、スポーツ史、スポーツ心理学、スポーツ経営学、スポーツ教育学、トレーニング科学、スポーツ工学とバイオメカニクス、コーチング・トレーニング、スポーツ・タレント、障害者スポーツ、スポーツ社会学、スポーツ環境学、スポーツ文化人類学 〔スポーツ医学〕 スポーツ生理学、スポーツ生化学、スポーツ栄養学、エネルギー代謝と活性酸素、運動とトレーニングの分子機構、スポーツ障害、ドーピング
				〔健康教育〕 健康教育、ヘルスプロモーション、安全推進・安全教育、保健科教育、ストレスマネジメント、喫煙・薬物乱用防止教育 〔健康推進活動〕 保健健康管理、保健健康情報、生活習慣病、栄養指導、運動処方と運動療法、心身の健康、加齢・老化、レジャー・レクリエーション
				〔生活経営、家族・家族関係〕 家庭経済と家庭経営、消費購買活動、家族関係、ライフスタイル、高齢者生活、介護、保育と福祉
	生活科学	生活科学一般	1501	〔家政一般、衣・住生活、家政教育〕 生活情報化、衣生活、衣環境、住生活、住環境、生活財、生活造形、家政・家庭科教育、生活素材、生活文化 〔食品と調理〕 調理と加工、食品と貯蔵、食嗜好と評価、食素材、調理と機能性成分、フードサービス、食文化、テクスチャー、食品と咀嚼性 〔食生活と健康〕 健康と食生活、食と栄養、食教育、食習慣、食行動、食情報、特殊栄養食品、食と環境、食事計画、家族と食生活、食生活の評価、フードマネージメント
	科学教育・教育工学	科学教育	1601	自然科学教育（数学、理科、物理・化学・生物・地学、情報）、実験・観察、科学教育カリキュラム、環境教育、産業教育、技術教育、工学教育、科学高等教育、科学技術教育史、科学的な社会認識、科学と社会、科学技術政策

	分科	細目	分科・細目コード	キーワード	
総 合 領 域	科学教育・教育工学	教育工学	1602	カリキュラム・教授法開発、教材情報システム、授業学習支援システム、マルチメディアと教育、分散協調教育システム、遠隔教育、eラーニング、コンピュータ・リテラシー、メディア教育、ヒューマン・インターフェイス、学校建築・設備	
	科学社会学・科学技術史	科学社会学・科学技術史	1701	科学社会学、生命倫理、科学技術史、医学史、土木技術史、産業考古学、科学基礎論・技術論、サイエンススタディーズ	
	文化財科学	文化財科学	1801	年代測定、古環境、材質分析、製作技法、産地同定、保存科学、遺跡調査、文化財、動植物遺体・人骨	
	地理学	地理学	1901	土地利用・景観、人間環境システム、地域間関係論、地域計画、数理計量地理学、地域区分・地誌・地理教育、地理学史・方法論、地理学一般、地形、気候、水文、自然地域・環境システム、地図・地理情報システム、リモートセンシング	
	環境学	環境動態解析	2001	環境変動、物質循環、環境計測、環境モデル、環境情報、地球温暖化、地球規模水循環変動、極域環境監視、化学海洋、生物海洋	
				2002	〔環境影響評価〕 陸圏・水圏・大気圏影響評価、生態系影響評価、影響評価手法、健康影響評価、次世代環境影響評価、極域の人間活動 〔環境政策〕 環境理念、環境経済、環境マネジメント、環境活動、環境と社会、合意形成
				2003	〔放射線影響科学〕 放射線生物影響、放射線作用機構、環境放射線、電離放射線障害、放射線疫学、次世代放射線影響、防護 〔化学物質影響科学〕 トキシコロジー、人体有害物質、微量化学物質汚染評価、内分泌かく乱物質
	環境技術・環境材料	2004	〔環境技術〕 環境保全技術、環境修復技術、省資源技術、省エネルギー技術、リサイクル技術、環境負荷低減技術 〔環境材料〕 循環再生材料設計、循環再生加工、循環材料生産システム、人間生活環境、グリーンケミストリー		
	ナノ・マイクロ科学	ナノ構造科学	2101	〔化学系〕 ナノ構造化学、クラスター・微粒子、ナノ反応場、単分子操作 〔物理系〕 ナノ構造物性、メソスコピック物理、ナノプローブ、量子情報、ナノトライボロジー	
	ナノ材料・ナノバイオサイエンス	2102	〔ナノ材料〕 ナノ材料創製、ナノ材料解析、ナノ材料評価、ナノ表面界面、ナノ多機能材料、ナノ計測、ナノ構造形成・制御 〔ナノバイオサイエンス〕 DNAデバイス、ナノカプセル、分子マニピュレーション、タンパク質チップ、1分子生理・生化学、1分子生体情報学、1分子科学一般、1分子ナノ計測		

	分科	細目	分科・細目コード	キーワード
複 合 領 域	ナノ・マイクロ科学	マイクロ・ナノデバイス	2103	[マイクロデバイス・マイクロマシン] MEMS、マイクロファブリケーション、マイクロ光デバイス、マイクロ化学システム、マイクロメカニクス
				[ナノデバイス] ナノデバイス造形、ナノ制御、分子デバイス、単量子デバイス、ナノマシン
	社会・安全システム科学	社会システム工学・安全システム	2201	[社会システム工学] 社会工学、社会システム、政策科学、開発計画、経営工学、経営システム、OR、品質管理、インダストリアルエンジニアリング、モデリング、ロジスティックス、マーケティング、ファイナンス
				[安全システム] 安全システム、安全工学、危機管理、都市・社会防災、火災・事故、安全情報・環境整備、社会の防災力(避難、パニック、情報伝達、ハザードマップ)
自然災害科学	2202	[地震・火山防災] 地震動、液状化、活断層、津波、火山噴火、火山噴出物・土石流、地震災害、火山災害、被害予想・分析・対策、建造物防災		
		[自然災害] 気象災害、水災害、地盤災害、土砂流、濁水、雪氷災害、自然災害予測・分析・対策、ライフライン防災、地域防災計画・政策、復旧・復興工学、災害リスク評価		
新 領 域	ゲノム科学	基礎ゲノム科学	2301	[基礎ゲノム生物学] 動物ゲノム、植物ゲノム、微生物ゲノム、オルガネラゲノム、ゲノム多様性、ゲノム構造、ゲノム発現、ゲノム進化・再編、ゲノム機能、システムゲノム、ゲノムネットワーク、ゲノム調節
				[基礎ゲノム情報科学] バイオインフォマティクス
	応用ゲノム科学	2302	[応用ゲノム生物学] 産業動物ゲノム、産業植物ゲノム、産業微生物ゲノム、ゲノム資源、機能ゲノミクス、ゲノム工学、染色体工学、オルガネラ工学、構造ゲノミクス、プロテオーム、プロファイリング、翻訳後修飾、プロテオーム構造機能解析	
			[応用ゲノム情報科学] ゲノムデータベース、バイオインフォマティクス、機能予測、分子設計、ゲノム創薬	
生物分子科学	生物分子科学	2401	天然物有機化学、二次代謝産物、生物活性物質、生体高分子、化学修飾、生体機能関連物質、活性発現の分子機構、構造活性相関、生合成、生物活性分子の設計・合成、コンビナトリアル化学、機器分析、化学生態学、プロテオミクス	
			資源保全学	2501
			[物質保全学] 特殊化学物質保全、特殊薬品保全、環境標準物質保全、純粋金属保全	

	分科	細目	分科・細目コード	キーワード
複 合 新 領 域	地域研究	地域研究	2601	ヨーロッパ、南北アメリカ、東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、西アジア、アフリカ(含オセアニア史)、オセアニア(含オセアニア史)、世界、地域間比較研究、地域協力、空間経済学
				ジェンダー
人 文 学	哲学	哲学・倫理学	2801	哲学原論・各論、倫理学原論・各論、西洋哲学、西洋倫理学、日本哲学、日本倫理学、比較哲学
			2802	中国哲学、中国仏教、道教
			2803	印度哲学、仏教学全般
		2804	宗教学、宗教史、宗教社会学、宗教人類学、宗教民俗学、宗教心理学、宗教哲学、比較宗教学、宗教現象学、宗教と医療	
		2805	社会思想史、日本思想史、比較思想史	
		2806	美学、美術史、芸術諸学	
	文学	日本文学	2901	日本文学、古代文学、中世文学、近世文学、近代文学、漢文学
			2902	英米文学、仏文学、独文学、ロシア東欧文学、南欧文学、ラテンアメリカ文学、その他ヨーロッパ語系各国文学、ヨーロッパ語系文献学、西洋古典学
			2903	中国文学、アフリカ文学、東南アジア文学、その他の各国文学、文献学、文学論、比較文学
	言語学	言語学	3001	音声学、音韻論、文字論、統語論、形態論、辞書論、意味論、語用論、談話研究、社会言語学、心理言語学、言語の生物学的基盤、歴史言語学、仏語学、独語学、中国語学、その他の語学
3002			国語学、音声、音韻、文字、文法、語彙、意味、文章、文体、方言、言語生活、日本語史	
3003			英語学、音声、音韻、文字、文法、語彙、語形成、意味、文体、英語史、英語の多様性、英語学史	
3004			日本語教育制度、教師論、教授法、学習理論、教材・教具論、母語教育、第二言語教育、対照言語研究、コミュニケーション教育、異文化コミュニケーション、日本事情、日本語教育史	
3005			外国語教育制度、教育論、教育内容、教授法・学習理論、第二言語習得理論、教材・教具論、外国語教育史、異文化コミュニケーション、英語教育	
史学	史学一般	3101	世界史、文化交流史、比較歴史学、比較文明論、史料学	
		3102	古代史、中世史、近世史、近・現代史	
		3103	朝鮮史、中国史、東南アジア史、南アジア史、西アジア史、内陸アジア史	
		3104	西欧史、東欧史、南欧史、北欧史、南北アメリカ史	
		3105	考古学、先史学	

	分科	細目	分科・細目コード	キーワード
人文科学	人文地理学	人文地理学	3201	環境適応、空間行動、立地、分布パターン、土地利用、産業配置、集落、生活様式、景観、地域性、地域区分、地域構造・地域システム、地域政策、地誌、絵図・地図、地理情報システム
	文化人類学	文化人類学・民俗学	3301	文化人類学、民俗学、民族学、社会人類学、比較民俗学、物質文化研究、先史・歴史研究、芸能・芸術研究、宗教儀礼研究、開発研究、ジェンダー研究、医療研究、人口・移住研究、少数者研究、生活・生態研究
社会科学	法学	基礎法学	3401	法哲学・法理学、ローマ法、法制史、法社会学、比較法、外国法、法政策学、法と経済
		公法学	3402	憲法、行政法、租税法、国法学、立法学、憲法訴訟、比較憲法、憲法史、行政組織法、行政手続法、行政救済法、国際税法、裁判法
		国際法学	3403	国際公法、国際私法、国際人権法、国際機構法、国際経済法
		社会法学	3404	労働法、経済法、社会保障法、教育法
		刑事法学	3405	刑法、刑事訴訟法、犯罪学、刑事政策、少年法
		民事法学	3406	民法、商法、民事訴訟法、法人、企業組織法、金融法、証券法、保険法、国際取引法、倒産法、紛争処理法、民事執行法
		新領域法学	3407	環境法、医事法、情報法、知的財産法、EU法、法とジェンダー、法学教育・法曹論
社会会	政治学	政治学	3501	政治理論、政治思想史、政治史、日本政治分析、政治過程論、選挙研究、行政学、比較政治
		国際関係論	3502	国際理論、外交史・国際関係史、対外政策論、安全保障論、国際政治経済、国際レジューム論、国際統合論、国際協力論、国際交流論、トランスナショナル・イシュー、グローバル・イシュー
社会科学	経済学	理論経済学	3601	ミクロ経済学、マクロ経済学、経済理論、経済制度
		経済学説・経済思想	3602	経済学説、経済学史、経済思想、経済思想史、社会思想、社会思想史
		経済統計学	3603	統計制度、統計調査、統計史、統計学説史、人口統計、所得・資産分布、国民経済計算、計量経済学
		応用経済学	3604	国際経済学、労働経済学、産業論、産業組織論、都市経済学、環境経済学、医療経済学、地域経済学
		経済政策	3605	経済政策、経済事情、日本経済、社会保障、経済体制、経済発展、政策シミュレーション
		財政学・金融論	3606	財政学、公共経済学、金融論、ファイナンス
		経済史	3607	経済史、経営史
社会科学	経営学	経営学	3701	企業経営、経営管理、事業組織、経営財務、経営情報
		商学	3702	マーケティング、消費者行動、流通、商業、保険
		会計学	3703	財務会計、管理会計、会計監査、簿記、国際会計
		社会学	3801	社会学理論・学説史、社会学研究法・社会調査法・数理社会学、社会構造・変動論、社会集団・組織論、階級・階層・社会移動、家族、地域社会・村落・都市、産業・労働、文化・社会意識、社会的コミュニケーション・社会情報、性・世代、社会問題・社会運動、差別問題、環境社会学、国際社会・エスニシティ

	分科	細目	分科・細目コード	キーワード	
社会科学	社会学	社会福祉学	3802	社会福祉論、社会福祉史、高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉、貧困問題、社会福祉援助技術、ソーシャルワーク、福祉ボランティア、福祉NPO、社会福祉教育・実習、地域福祉、介護福祉、国際社会福祉、女性福祉	
		心理学	社会心理学	3901	自己過程、社会的認知・感情、態度・信念、社会的相互作用・対人関係、対人コミュニケーション、集団・リーダーシップ、集合現象、産業・組織、文化、社会問題、環境問題、メディア・電子ネットワーク、人事、作業、消費者問題
			教育心理学	3902	生涯発達、母子関係、発達障害、パーソナリティ、学習過程、教授法、学級集団・経営、教育評価、教育相談、カウンセリング、学生相談
			臨床心理学	3903	心理的障害、犯罪・非行、心理アセスメント、心理療法、心理学的介入、心理検査、セルフコントロール、心理面接過程、事例研究、セルフヘルプグループ、セラピスト論、地域援助、健康開発、心理リハビリテーション、健康心理学
			実験心理学	3904	生理、感覚・知覚、注意・意識、学習・行動分析、記憶、思考、言語、動機づけ、情動、行動、データ解析法
		教育学	教育学	4001	教育理論、教育思想、教育史、カリキュラム論、学習指導論、学力論、教育方法、教育評価、教育行政、学校経営、学校教育、就学前教育、生涯教育、社会教育、家庭教育
教育社会学	4002	教育社会学、教育経済学、教育人類学、教育政策、比較教育、人材開発・開発教育、学校組織・学校文化、教師・生徒文化、青少年問題・少年非行、教育問題、学力問題、多文化教育、ジェンダーと教育、教育調査法			
社会科学	教科教育学	教科教育学	4003	カリキュラム構成・開発、教材開発、各教科の教育(国語、算数・数学、理科、社会、地理・歴史、公民、生活、音楽、図画工作・美術工芸、家庭、技術)、教科外教育(総合的学習、道徳、特別活動)、専門教科の教育(工業・商業・農業・水産・看護)、生活指導・生徒指導、進路指導	
		特別支援教育	4004	特殊教育、障害者教育、学習困難、学習障害、情緒障害、行動障害、乳幼児虐待、養育放棄、子育て支援、学童保育、学校不適応、教育相談・カウンセリング	
		数学	代数学	4101	数論、代幾何、群論、環論、代数一般
			幾何学	4102	微分幾何、複素多様体、位相幾何、複素解析幾何、微分トポロジー
			数学一般(含確率論・統計数学)	4103	数学基礎論、確率論、統計数学、応用数学、組合せ論、情報数理、離散数学、数値数学、数理モデル
			基礎解析学	4104	複素解析、実解析、関数方程式、関数解析、確率解析、代数解析
			大域解析学	4105	関数方程式の大域理論、変分法、非線形現象、多様体上の解析、力学系、作用素環、可積分系
天文学	天文学	4201	光学赤外線天文学、電波天文学、太陽物理学、位置天文学、理論天文学、X線γ線天文学		



	分科	細目	分科・細目コード	キーワード
数	物理学	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理(理論)	4301	素粒子物理、核物理、宇宙線、加速器、粒子測定技術、宇宙物理、相対論・重力波
		素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理(実験)	4302	
		物性Ⅰ(光物性・半導体・誘電体)(理論)	4303	半導体、メソスコピック系・局在、光物性、表面・界面、結晶成長、誘電体、格子欠陥、X線・粒子線、フォノン物性
		物性Ⅰ(光物性・半導体・誘電体)(実験)	4304	
		物性Ⅱ(磁性・金属・低温)(理論)	4305	磁性、磁気共鳴、強相関係、高温超伝導、金属、超低温・超伝導、量子液体・固体、分子性固体・有機導体
		物性Ⅱ(磁性・金属・低温)(実験)	4306	
		数理物理・物性基礎(理論)	4307	統計物理学、物性基礎論、数理物理、可積分系、非平衡・非線形物理学、応用数学、力学、流体物理、不規則系、計算物理学
		数理物理・物性基礎(実験)	4308	
		原子・分子・量子エレクトロニクス・プラズマ	4309	原子・分子、量子エレクトロニクス、量子情報、放射線、プラズマ、ビーム物理、放電
		生物物理・化学物理	4310	高分子・液晶、化学物理、生物物理、ソフトマターの物理
系	地球惑星科学	固体地球惑星物理学	4401	地震現象、火山現象、地殻変動・海底変動、地磁気、重力、観測手法、テクトニクス、内部構造、内部変動・物性、月・衛星・小惑星、惑星形成・進化、地震災害・予測
		気象・海洋物理・陸水学	4402	気象、海洋物理、陸域水循環・物質循環、水収支、地球環境システム、地球流体力学、気候、惑星大気
		超高層物理学	4403	太陽地球システム、惑星間空間、地球惑星磁気圏、地球惑星電離圏、地球惑星上層大気、宇宙プラズマ、地磁気変動、プラズマ波動
		地質学	4404	地層、地殻、環境地質、テクトニクス、地質時代、地球史応用地質、惑星地質学、第四紀学
		層位・古生物学	4405	層序、古環境、化石、系統・進化・多様性、古生態、古生物地理、機能・形態、古海洋
		岩石・鉱物・鉱床学	4406	地球惑星物質、地球惑星進化、地殻・マントル・核、マグマ、天然・人工結晶、元素分別濃集過程、鉱物資源、メタロジェニー
		地球宇宙化学	4407	元素分布、同位体、物質循環、地殻・マントル化学、隕石化学、大気圏・水圏・生物圏化学
		プラズマ科学	4501	プラズマ基礎、プラズマ応用、プラズマ計測、プラズマ物理、放電、反応性プラズマ、宇宙・天体プラズマ、核燃焼プラズマ、プラズマ化学
学	基礎化学	物理化学	4601	分子構造、結晶構造、電子状態、分子動力学、化学反応、溶液、分子分光、励起分子素過程、電気化学、放射線化学、電子・エネルギー移動、表面・界面

	分科	細目	分科・細目コード	キーワード	
化	基礎化学	有機化学	4602	構造有機化学、反応有機化学、合成有機化学、有機元素化学、有機光化学、物理有機化学、理論有機化学	
		無機化学	4603	金属錯体化学、有機金属化学、無機固体化学、溶液化学、核・放射化学、クラスター、低次元化合物、層間化合物、元素集積体、超分子	
	複合化学	分析化学	4701	試料処理、化学分析、生物学的分析、核利用分析、分離分析、化学センサー、チップ分析、クロマトグラフィー、機器分析、表面分析、組織解析、状態分析、環境分析、生体分析、分析値評価	
		合成化学	4702	選択的合成・反応・有機金属触媒、ファインケミカルズ、不斉合成、触媒設計・反応、環境調和型反応、反応場、自動合成、生物的合成手法、コンビナトリアル手法	
		高分子化学	4703	高分子合成、重合、高分子反応・分解、不斉重合、重合触媒、高分子構造、高分子物性、機能性高分子化学、生体関連高分子、高分子薄膜・表面、高分子錯体、環境関連高分子	
		機能物質化学	4704	光物性、電気・磁気的性質、分子素子、センサー、分子認識、超分子、液晶・結晶、膜・集合体、表面・界面、電気分解、機能触媒	
	環境関連化学	環境関連化学	4705	グリーンケミストリー、リサイクル化学、低環境負荷物質、生分解性物質、高原子効率反応、高機能触媒、微量環境物質評価、反応媒体、安全化学、マイクロ化学手法	
		生体関連化学	4706	核酸・蛋白質・糖化学、酵素化学、受容体化学、生体認識・機能化学、生体系類似化学、ポストゲノム創薬、生体機能材料、生物有機化学、生物無機化学、生体関連高分子化学、天然物有機化学、バイオテクノロジー	
		材料化学	機能材料・デバイス	4801	液晶材料・素子、有機EL素子、有機半導体デバイス、光学材料・素子、有機電子材料、素子、導電機能素子、電気・磁気デバイス、電池、コンデンサー
			有機工業材料	4802	界面活性剤、染料・顔料、色材、選択的反応、新規官能基、レジスト
学	無機工業材料	無機工業材料	4803	結晶・多結晶材料、ガラス、セメント、微粉体、層状・層間化合物、イオン交換体、無機合成、光触媒、電気化学、多孔体、焼結体、ハイブリッド材料	
		高分子・繊維材料	4804	高分子材料物性、高分子材料合成、繊維材料、ゴム材料、ゲル、高分子機能材料、天然・生体高分子材料、ブレンド・複合材料、高分子・繊維加工、高分子計算・設計	
	工	応用物理学・工学基礎	応用物性・結晶工学	4901	金属、半導体、磁性体、超伝導体、非晶質、結晶成長、エピタキシャル成長、結晶評価、微粒子、有機分子、液晶、バイオエレクトロニクス、新機能材料、ヘテロ構造、光物性、誘電体、セラミックス
		薄膜・表面界面物性	4902	薄膜、表面、界面、プラズマプロセス、真空、ビーム応用、走査プローブ顕微鏡、電子顕微鏡	
応用光学・量子光工学		4903	光、光学素子・装置・材料、画像・光情報処理、視覚工学、レーザ、光エレクトロニクス、微小光学、光計測、光記録、光プロセッシング、光制御		
学	基礎化学	物理化学	4601	分子構造、結晶構造、電子状態、分子動力学、化学反応、溶液、分子分光、励起分子素過程、電気化学、放射線化学、電子・エネルギー移動、表面・界面	

	分 科	細 目	分科・細目コード	キーワード
工	応用物理学・工学基礎	応用物理学一般	4904	力、熱、音、振動、電磁気、物理計測・制御、標準、トライボロジー、センサー、マイクロマシン、エネルギー変換、プラズマ、放射線、加速器、原子炉
		工学基礎	4905	数理工学（数理的解析・計画・設計）、物理数学、計算力学、シミュレーション工学
	機械工学	機械材料・材料力学	5001	材料設計・プロセス・物性・評価、連続体力学、構造力学、損傷力学、破壊、疲労、環境強度、信頼性設計、生体力学
		生産工学・加工学	5002	生産モデリング、生産システム、生産管理、工程設計、工作機械、成形加工、切削・研削加工、特殊加工、超精密加工、ナノ・マイクロ加工、精密位置決め・加工計測
		設計工学・機械機能要素・トライボロジー	5003	設計工学、形状モデリング、CAD、創造工学、機械学、機能要素、故障診断、安全・安心設計、ライフサイクル設計、トライボロジー
		流体工学	5004	数値流体力学、圧縮・非圧縮流、乱流、混相流、反応流、非ニュートン流、分子流体力学、バイオ流体力学、環境流体力学、音響、流体機械、油空圧機器
		熱工学	5005	熱力学、熱物性、熱・物質移動、燃焼、温熱制御、熱機関、冷凍・空調、エネルギー利用
		機械力学・制御	5006	運動力学、動的設計、振動学、振動解析・試験、制御機器、運動制御、振動制御、機械計測、耐震・免震設計、交通機械制御、音響情報・制御、音響エネルギー
		知能機械学・機械システム	5007	ロボティクス・メカトロニクス、マイクロメカトロニクス、バイオメカニクス、ソフトメカニクス、精密・情報機器、精密機械システム、人間機械システム、情報システム
	電気電子工学	電力工学・電気機器工学	5101	電気エネルギー工学（発生・変換・貯蔵・省エネルギーなど）、電力系統工学、電気機器、パワーエレクトロニクス、電気有効利用、電気・電磁環境、照明
電子・電気材料工学		5102	電気・電子材料（半導体、誘電体、磁性体、超誘電体、有機物、絶縁体、超伝導体など）、薄膜・量子構造、厚膜、作成・評価技術	
電子デバイス・電子機器		5103	電子デバイス・集積回路、回路設計・CAD、光デバイス・集積化、マイクロ波・ミリ波、波動利用工学、バイオデバイス、記憶・記録、表示、センシング、微細プロセス技術、インターコネクト・パッケージのシステム化・応用	
通信・ネットワーク工学		5104	電子回路網、非線形理論・回路、情報理論、信号処理、通信方式（有線、有線、衛星、光、移動）、変復調、符号化、プロトコル、アンテナ、中継・交換、ネットワーク・LAN、マルチメディア、暗号・セキュリティ	
システム工学		5105	システム情報（知識）処理、社会システム工学、経営システム工学、環境システム工学、生産システム工学、バイオシステム工学	
計測工学		5106	計測理論、センシングデバイス、計測機器、計測システム、信号処理、センシング情報処理	
制御工学		5107	制御理論、システム理論、知識型制御、制御機器、制御システム、複雑系	

	分 科	細 目	分科・細目コード	キーワード
工	土木工学	土木材料・施工・建設マネジメント	5201	木材、鋼材、コンクリート、瀝青材料、複合材料、施工管理、プロジェクトマネジメント、社会基盤マネジメント、建設経営、建設CALS、公共調達
		構造工学・地震工学・維持管理工学	5202	設計論、鋼構造、コンクリート構造、複合構造、荷重、振動、風工学、計測、応用力学、地震動、耐震構造、地震防災、維持管理工学
		地盤工学	5203	土質力学、岩盤力学、動土質、基礎、土構造物、トンネル、斜面、施行、地盤環境
		水工水理学	5204	水理学、流体力学、水文学、河川、海岸、海洋
		交通工学・国土計画	5205	土木計画学、地域都市計画、資源・環境・防災計画、交通現象分析、交通計画、交通工学、道路工学、鉄道工学、測量、リモートセンシング、土木史、景観、土木デザイン
		土木環境システム	5206	水資源、エネルギー施設、都市環境システム、上下水道、廃棄物管理、水質
	建築学	建築構造・材料	5301	荷重論、構造解析、構造設計、コンクリート構造、鋼構造、基礎構造、構造材料、建築工法、保全技術、地震防災、構造制御
		建築環境・設備	5302	音・振動環境、光環境、熱環境、空気環境、環境設備計画、空調、給排水、火災工学、都市環境、環境設計
		都市計画・建築計画	5303	計画論、設計論、住宅論、都市・地域計画、行政・制度、建築経済、防災計画、生産管理、景観計画
		建築史・意匠（人文社会科学）	5304	建築史、都市史、環境形成史、建築論、意匠、様式、景観
	建築史・意匠（自然科学）	5305		
材料工学	金属物性	5401	電子・磁気物性、半導体物性、熱物性、光物性、力学物性、超伝導、薄膜物性、ナノ物性、計算材料物性、表面・界面・粒界物性、微粒子・クラスター、準結晶、照射損傷、原子・電子構造、格子欠陥、拡散・相変態・状態図	
	無機材料・物性	5402	結晶構造・組織制御、力学・電子・電磁・光・熱物性、表面・界面物性、高温特性、粒界特性、機能性セラミックス、機能性ガラス、構造用セラミックス、カーボン材料、誘電体	
	複合材料・物性	5403	有機・無機繊維、マトリックス材、複合効果、分散強化、長繊維強化、FRM、FRP、FRC、傾斜機能、複合粒子、複合延性、複合破壊、複合変形応力、界面破壊、反応焼結	
	構造・機能材料	5404	強度・靱性・破壊・疲労・クリープ・応用腐食割れ・超塑性・磨耗、ナノ構造、磁性材料、電子・情報材料、水素吸蔵材料、燃料電池材料、熱・エネルギー材料、センサー材料、極低温材料、耐震・耐環境材料、生体・福祉材料、高温材料、アモルファス材料、インテリジェント材料、新機能材料	

	分科	細目	分科・細目コード	キーワード
工	材料工学	材料加工・処理	5405	表面・界面制御、腐食防食、塑性加工、粉末冶金、熱処理、接合、結晶制御、ナノプロセス、微細加工、プラズマ処理・レーザー加工、溶射・コーティング、メッキ、非破壊検査、薄膜プロセス、非平衡プロセス、メカニカルアロイング、精密造形プロセス、電極触媒、補修・延命処理
		金属生産工学	5406	反応・分離、素材精製、融体・凝固、鑄造、結晶育成、組織制御、高純度化、各種製造プロセス、省エネプロセス、極限環境場プロセス、エコマテリアル化、資源分離、廃棄物処理、材料循環プロセス、リサイクル、安全材料工学
	プロセス工学	化工物性・移動操作・単位操作	5501	平衡・輸送物性、流動・伝熱・物質移動操作、蒸留、抽出、吸収、吸着、イオン交換、膜分離、異相分離、超高度分離、攪拌・混合操作、粉粒体操作、晶析操作、薄膜・微粒子形成操作、高分子成形加工操作
		反応工学・プロセスシステム	5502	気・液・固・超臨界流体反応操作、新規反応場、反応速度、反応機構、反応装置、材料合成プロセス、重合プロセス、計測、センサー、プロセス制御、プロセスシステム設計、プロセス情報処理、プロセス運転・設備管理
		触媒・資源化学プロセス	5503	触媒反応、触媒調製化学、触媒機能解析、エネルギー変換プロセス、化石燃料有効利用技術、資源・エネルギー有効利用技術、省資源・省エネルギー技術、燃焼技術
		生物機能・バイオプロセス	5504	生体触媒工学、生物機能工学、食品工学、医用化学工学、バイオ生産プロセス、バイオリアクター、バイオセンサー、バイオセパレーション
	総合工学	航空宇宙工学	5601	航空宇宙流体・構造・航法・制御・推進、航空宇宙システム・設計、宇宙利用
		船舶海洋工学	5602	船舶性能・構造・建造・艦装・計画・設計、船用機関・燃料、船舶生産システム、海上輸送システム、海洋流体工学、構造力学、海洋環境、海洋資源、海洋探査・機器、海中・海底工学、極地工学
		地球・資源システム工学	5603	応用地質、地殻工学、リモートセンシング、地球計測、地球システム、資源探査、資源開発、資源評価、資源処理、廃棄物地下保存・処分、地層汚染修復、深地層開発、素材資源、自然エネルギー、資源経済
		リサイクル工学	5604	廃棄物発生抑制、再使用、再生利用、再資源化、有価物回収、固固分離、素材クリーニング、適性処分の技術とシステム、製品LCA、環境配慮設計、グリーンプロダクション、ゼロエミッション
核融合学		5605	磁場核融合、慣性核融合、プラズマ閉込め・安定性、低放射化材料、燃料・ブランケット、電磁・マグネット、核融合システム工学、安全・生物影響	
原子力学		5606	放射線理工学、加速器・ビーム工学、同位体理工学、炉物理・核データ、燃料・材料・化学、熱流動・構造、原子力計測、安全・リスク・信頼性・燃料サイクル、バックエンド、新型原子炉、保健物理・環境安全、原子力社会環境	

	分科	細目	分科・細目コード	キーワード
工学	総合工学	エネルギー学	5607	エネルギー生成・変換、エネルギー輸送・貯蔵、エネルギー節約・効率利用、エネルギーシステム、環境調和
		基礎生物学	5701	遺伝・ゲノム動態
	生物学	生態・環境	5702	個体群、生物社会、種間関係、群集、生態系、進化生態、行動生態、自然環境、生理生態、分子生態
		植物生理・分子	5703	色素体機能（光合成など）、成長生理、オルガネラ、環境応答、全能性、代謝性、植物分子
		形態・構造	5704	動物形態、植物形態、微生物形態、形態形成、組織形態、実験形態、微細構造、顕微鏡技術
		動物生理・行動	5705	代謝生理、行動生理、動物生理・化学
		生物多様性・分類	5706	分類群、分類体系、進化、多様性、分類形質、系統、種分化、自然史
		生物科学	5801	糖質と脂質、タンパク質と酵素、核酸、遺伝子及び染色体、生体膜及び受容体、細胞間マトリックス、細胞小器官、生体物質の機器分析、翻訳後修飾、分子認識、変性、フォールディング、生体分子立体構造解析および予測、NMR、質量分析、高分解能電子顕微鏡解析、中性子解析、構造生物学、X線結晶解析
		機能生物化学	5802	酵素の作用機作と調節、酵素異常、遺伝子の情報発現と複製、生体エネルギー変換、生体微量元素、ホルモンと生理活性物質、細胞情報伝達機構、免疫生化学、糖鎖生物学、膜輸送と輸送タンパク質
		生物物理学	5803	タンパク質・核酸の構造・動態・機能、運動・輸送、生体膜・受容体・チャンネル、光生物、細胞情報・動態、脳・神経系の情報処理、理論生物学・バイオインフォマティクス、構造生物学、フォールディング、構造・機能予測、1分子計測・操作、バイオイメージング、非平衡・複雑系
分子生物学	5804	生体高分子構造・機能、遺伝情報複製・転写装置・再編・制御、染色体構築・機能・分配、細胞集合、核分裂周期		
細胞生物学	5805	細胞構造・機能、生体膜、細胞骨格・運動、細胞内・細胞間情報伝達、細胞周期、細胞分化、細胞質分裂、核構造		
発生生物学	5806	細胞分化、形態形成、細胞認識、受精、生殖細胞、遺伝子発現調節、発生遺伝、発生進化		
進化生物学	5807	生命起源、真核生物起源、オルガネラ起源、多細胞起源、分子進化、形態進化、機能進化、遺伝子進化、進化生物学一般、比較ゲノム、実験進化生物学		
人類学	人類学	5901	形態人類学、先史人類学、生体機構学、分子人類学、生態人類学、霊長類学、進化的人類学、歯牙人類学、加齢人類学、ホミニゼーション、応用人類学	
	生理人類学	5902	生理的多型性、環境適応能、全身的協働、機能的潜在性、テクノ・アダプタビリティ	
農学	育種学	6001	植物育種・遺伝、育種理論、遺伝資源、植物分子育種	
	作物学・雑草学	6002	食用作物、工芸作物、飼料作物、栽培、雑草、野生植物資源	

	分科	細目	分科・細目コード	キーワード
農	農学	園芸学・造園学	6003	果樹、野菜、花卉、園芸利用、施設利用、造園、景観
		植物病理学	6004	病態、感染生理、宿主認識、毒素、遺伝子、病害防除、病害抵抗性
		応用昆虫学	6005	応用昆虫、応用動物、昆虫利用、昆虫病理、養蚕・蚕糸
	農芸化学	植物栄養学・土壌学	6101	植物成長・生理、栄養代謝、代謝調節、土壌分類、土壌物理、土壌化学、土壌生物、土壌環境
		応用微生物学	6102	微生物学、発酵生産、微生物分類、微生物遺伝・育種、微生物代謝、微生物機能、微生物利用学、環境微生物、抗生物質生産、微生物生態学、微生物制御学
		応用生物化学	6103	動物生化学、植物生化学、酵素利用学、細胞培養、組織培養、遺伝子工学、生物工学、代謝工学、物質生産、細胞応答、情報伝達、微量元素
		生物生産化学・生物有機化学	6104	生物活性物質、細胞機能調節物質、農薬科学、植物成長調節物質、情報分子、生合成、天然物化学、生物無機化学、物理化学、分析化学、有機化学
		食品科学	6105	食品化学、食糧化学、食品生化学、食品物理学、食品工学、食品機能学、食品保蔵学、食品製造学、栄養化学、栄養生化学、食品安全性
	林学	林学・森林工学	6201	森林生産、森林生態・保護・保全、森林生物、森林管理・政策、森林風致、森林利用、緑化・環境林、治山・砂防、崩壊・地すべり・土石流、水資源涵養・水質
		林産科学・木質工学	6202	組織構造・材形成、材質・物性、パルプ・紙、リグニン、抽出成分・微量成分、化学加工、保存・木質文化、乾燥・機械加工、接着・木質材料、強度・木質構造、居住性・感性
	水産学	水産学一般	6301	分類、発生、形態、生理、生態、漁業、資源・資源管理、増養殖、遺伝・育種、魚病、水圏環境・保全、海藻、プランクトン、微生物
		水産化学	6302	タンパク質、脂質、糖質、酵素、エキス成分、ビタミン、色素、生物活性物質、食品加工、食品衛生、微生物、生物工学
	農業経済学	農業経済学	6401	農業経営、農業政策、農業経済、農業金融、農業会計、農業史、農業地理、国際農業、農業地域計画、農村社会
	学	農業工学	農業土木学・農村計画学	6501
農業環境工学			6502	農業生産環境、生物環境変動予測・制御、生物環境調節、生物工場、閉鎖系生物生産システム、生体計測、生物環境情報・リモートセンシング、農業情報、農作業システム、農作業情報、農業労働科学、生産・流通施設、自然エネルギー、生物生産機械、ポストハーベスト工学、バイオプロセッシング
農業情報工学		6503	画像処理・画像認識、非破壊計測、インターネット応用、バイオインフォマティクス、コンピュータシミュレーション、コンピュータネットワーク、知識処理、バイオメカトロニクス、バイオロボティクス、バイオセンシング、GPS/GIS、精密農業	

	分科	細目	分科・細目コード	キーワード	
農	畜産学・獣医学	畜産学・草地学	6601	草地生態、草地利用、草地管理・保全、畜産物利用、畜産バイオマス、家畜福祉、野生動物保全、家畜生産システム、飼料、飼養、家畜管理	
		応用動物科学	6602	育種、繁殖、生産機能制御、発生工学、クローン家畜、生物製剤、生体利用	
		基礎獣医学・基礎畜産学	6603	遺伝、発生、生理、形態、行動、生態、薬理、生体情報、寄生体生物	
		応用獣医学	6604	家畜衛生、獣医公衆衛生、毒性学、疾病予防・制御、野生動物、動物福祉、人畜共通感染症	
		臨床獣医学	6605	内科、外科、臨床繁殖・産科、診断、検査、治療、予後、病理・病態	
	境界農学	環境農学	6701	環境分析、環境汚染、環境修復、環境浄化、水域汚染、資源環境システム、バイオマス、遺伝子資源、生物環境、資源環境バランス、地域農学	
	学	薬学	化学系薬学	6801	有機化学、合成化学、生体関連物質、天然薬物学、有機反応学、ヘテロ環化学
			物理系薬学	6802	物理化学、分析化学、製剤学、情報薬品科学、同位体薬品化学、コンピュータ科学、生物物理化学、生物分子構造
		生物系薬学	6803	生化学、分子生物学、免疫化学、薬理学、細胞生物学、神経生物学、構造生物学	
		創薬化学	6804	医薬品化学、医薬分子設計、生物活性物質、医薬分子機能学、ゲノム創薬	
環境系薬学		6805	環境衛生学、環境化学、環境動物学、食品衛生学、栄養化学、微生物科学、薬用資源学、中毒学、レギュラトリサイエンス		
医療系薬学		6806	病院薬学、医療薬剤学、薬物動態学、医薬品情報学、薬効解析学、医薬品安全性学、薬物代謝学、臨床化学、ドラッグデリバリー、オーダーメイド医療		
基礎医学		解剖学一般（含組織学・発生学）	6901	肉眼解剖学、機能解剖学、臨床解剖学、比較解剖学、画像解剖学、形質人類学、発生学・形態形成学、先天異常学・奇形学、実験形態学、解剖学教育、組織学、細胞微細形態学、細胞分化・組織形成、細胞組織化学、分子形態、顕微鏡技術	
生理学一般		6902	分子生理学、細胞生理学、組織・器官生理学、システム生理学、一般生理学		
環境生理学（含体力医学・栄養生理学）		6903	環境生理学、体力医学、栄養生理学、適応・協働生理学、生体リズム、発達・成長・老化		
薬理学一般		6904	腎臓、循環、骨格筋・平滑筋、消化器、炎症・免疫、生理活性物質、中枢・末梢神経		
医化学一般	6905	生体分子医学、細胞医科学、臨床遺伝医学、発生医学、再生医学、加齢医学、高次生命医学			
病態医化学	6906	異常代謝学、分子病態学、分子遺伝子診断学、分子腫瘍学、分子病態栄養学			

	分科	細目	分科・細目コード	キーワード
医	基礎医学	人類遺伝学	6907	分子遺伝学、細胞遺伝学、薬理遺伝学、遺伝生化学、遺伝疫学、遺伝診断学、遺伝子治療学、遺伝カウンセリング、生命倫理学
		人体病理学	6908	脳・神経、消化器、呼吸器、循環器、泌尿生殖器、骨・筋肉、血液、分子病理、地理病理、腫瘍、診断病理学、細胞診断、テレパソロジー、環境病理
		実験病理学	6909	動物、細胞、分子、超微形態、腫瘍、炎症、中毒病理、発生病理、疾患モデル動物
		寄生虫学(含衛生動物学)	6910	寄生虫、原虫、昆虫、哺乳類、分子、疫学、発生、遺伝
		細菌学(含真菌学)	6911	病原性、感染免疫、疫学、遺伝、分類
		ウイルス学	6912	分子、細胞、個体疫学、病原性、診断、プリオン、ワクチン
		免疫学	6913	抗原、抗体、補体、サイトカイン、細胞、接着分子
菌	境界医学	医療社会学	7001	病院管理学、医療管理学、医療情報学、バイオエシックス、医学史、医学教育学、医療経済学、リスクマネジメント
		応用薬理学	7002	臨床薬理学、薬物治療学、医薬品副作用、薬物輸送学、ファーマコゲノミックス、同位体医療薬学、機器医療薬学
		病態検査学	7003	臨床検査医学、臨床病理学、臨床化学、免疫血清学、臨床検査システム
薬	社会医学	衛生学	7101	環境保健、予防医学、産業衛生、環境疫学、分子遺伝疫学、医学統計、生命倫理、環境中毒、産業中毒、環境生理、地球環境、災害事故、人間工学、交通医学、食品衛生
		公衆衛生学・健康科学	7102	地域保健、母子保健、学校保健、成人保健、保健栄養、健康管理、健康教育、医療行動学、人口問題、国際保健学、保健医療行政、病院管理学、医療情報学、介護保険
		法医学	7103	法医学、医の倫理、犯罪精神医学、矯正医学、保険医学、診療録管理学、法医学鑑定学、アルコール医学、法歯学、DNA多型医学、法医病理学
学	内科系臨床医学	内科学一般(含心身医学)	7201	心療内科学、ストレス科学、東洋医学、伝統薬物、代替医療、総合診療、プライマリーケア
		消化器内科学	7202	消化器学(食道、胃、小腸、大腸)、消化管内視鏡学、肝臓病学、膵臓病学、胆道学
		循環器内科学	7203	心臓病態学、血管病態学
		呼吸器内科学	7204	呼吸器病学、縦隔疾患学、胸膜疾患学、呼吸生理学
		腎臓内科学	7205	腎臓学、高血圧学、水・電解質代謝学、人工透析学
		神経内科学	7206	神経病態生化学、神経病態薬理学、神経病態免疫学、臨床神経生理学、臨床神経形態学、臨床神経分子遺伝学、臨床神経心理学
		代謝学	7207	糖尿病学、動脈硬化学、代謝異常学
		内分泌学	7208	内分泌学、生殖内分泌学
		血液内科学	7209	血液内科学、血栓・止血学、輸血学、小児血液学、造血幹細胞移植学、血液免疫学、免疫制御学

	分科	細目	分科・細目コード	キーワード	
医	内科系臨床医学	膠原病・アレルギー・感染症内科学	7210	膠原病学、リウマチ学、アレルギー学、臨床免疫学、感染症学	
		小児科学	7211	発達小児科学、成育医学、小児神経学、小児内分泌学、小児代謝・栄養学、小児循環器学、小児呼吸器学、遺伝・先天異常学、小児保健学、小児社会医学、小児血液学、小児腫瘍学、小児免疫・アレルギー・膠原病学、小児感染症学、小児腎・泌尿器学、小児消化器病学	
		胎児・新生児医学	7212	出生前診断、胎児医学、先天異常学、新生児医学、未熟児医学	
		皮膚科学	7213	皮膚診断学、皮膚病理学、性病学、レーザー治療学、皮膚生理学、皮膚腫瘍学、色素細胞学、皮膚感染症	
		精神神経科学	7214	精神薬理学、精神生理学、精神病理学、社会精神医学、児童精神医学、老年精神医学、司法精神医学、神経心理学	
		放射線科学	7215	画像診断学(含放射線診断学、核医学)、放射線治療学	
		菌	外科系臨床医学	外科学一般	7301
消化器外科学	7302			食道外科学、胃十二指腸外科学、小腸大腸肛門外科学、肝臓外科学、胆道外科学、膵臓外科学、脾門脈外科学	
胸部外科学	7303			心臓大血管外科学、呼吸器外科学、縦隔外科学	
脳神経外科学	7304			頭部外傷学、脳腫瘍学、脳血管障害学、脳血管内外科学、機能脳神経外科学、小児脳神経外科学、脊髄・脊椎疾患学	
整形外科	7305			脊椎脊髄病学、筋・神経病学、骨・軟部腫瘍学、四肢機能再建学、理学療法学、運動器リハビリテーション学、関節病学、リウマチ病学、骨・軟骨代謝学、小児運動器学、運動器外傷学、スポーツ医学	
麻酔・蘇生学	7306			麻酔学、蘇生学、周術期管理学、疼痛治療学	
泌尿器科学	7307			泌尿器科学、副腎外科学、腎移植、アンドロロジー	
産婦人科学	7308			産科学、生殖医学、婦人科学、婦人科腫瘍学、更年期医学	
耳鼻咽喉科学	7309			耳鼻咽喉学、頭頸部外科学、気管食道学	
眼科学	7310			眼科学、神経眼科学、眼光学	
学	内科系臨床医学	小児外科学	7311	先天性消化器疾患学、先天性心大血管外科学、胎児手術学、小児泌尿器科学、小児呼吸器外科学、小児腫瘍学	
		形成外科学	7312	再建外科学、創傷治療学、マイクロサージェリー学、組織培養・移植学、再生医学	
		救急医学	7313	集中治療医学、外傷外科学、救急蘇生学、急性中毒学、災害医学	
		歯学	形態系基礎歯科学	7401	口腔解剖学(含組織学・発生学)、口腔病理学、口腔細菌学
			機能系基礎歯科学	7402	口腔生理学、口腔生化学、歯科薬理学
			病態科学系歯学・歯科放射線学	7403	実験腫瘍学、免疫・感染・炎症、歯科放射線学一般、歯科放射線診断学
			保存治療系歯学	7404	保存修復学、歯内療法学
		補綴理工系歯学	7405	歯科補綴学一般、有床義歯学、冠橋義歯学、歯科インプラント学、歯科用材料・歯理工学	

	分 科	細 目	分科・細目コード	キーワード	
医	歯学	外科系歯学	7406	口腔外科学一般（含病態検査学）、 歯科麻酔学、臨床腫瘍学	
		矯正・小児系歯学	7407	歯科矯正学、小児歯科学、小児口腔保健学	
		歯周治療系歯学	7408	歯周免疫機能学、歯周外科学、歯周予防学	
		社会系歯学	7409	口腔衛生学（含公衆衛生学・栄養学）、 予防歯科学、歯科医療管理学、 歯科法医学、老年歯科学、歯科心身医学	
	看護学	基礎看護学	7501	看護学概論、看護哲学、看護技術、 看護倫理学、災害看護、看護教育学、 看護管理学、看護行政学	
		臨床看護学	7502	重篤・救急看護学、周手術期看護学、 慢性病看護学、リハビリテーション看護学、 がん看護学、ターミナルケア、母性・女性看護学、 助産学、小児看護学、家族看護学	
		地域・老年看護学	7503	地域看護学、精神看護学、老年看護学、 公衆衛生看護学、在宅看護、訪問看護	
	歯				
薬					
学					

## 競争的資金等の適正な使用等について

2008年6月

国際事業部

「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（平成19年2月15日文科科学大臣決定）等を踏まえ、国際事業部の各種公募事業について、以下のように取り扱うことといたします。

### （1）「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（平成19年2月15日文科科学大臣決定）に基づく措置

本ガイドライン別紙にある『競争的資金等』の一覧等に該当する事業については、各研究機関において標記ガイドラインに基づく研究費の管理・監査体制の整備、及びその実施状況等についての報告書を文科科学省に提出することが必要です（実施状況報告書の提出がない場合の研究実施は認められません）。

なお、当該措置の詳細及び具体の報告書の提出依頼については、文科科学省等からのお知らせに従って対応してください。

### （2）不合理な重複・過度の集中の排除

#### ①不合理な重複に対する措置

研究者が、実質的に同一の研究内容について、国あるいは独立行政法人の競争的資金制度等による配分を受けている場合、または受けることが決定している場合、本事業において、審査対象からの除外、採択の決定の取消し、又は資金・経費等の減額（以下、採択の決定の取消し等とする。）を行うことがあります。

なお、本事業への申請段階において、他の競争的資金制度等への応募・申請を制限するものではありませんが、他の競争的資金制度等に採択された場合には速やかに本事業の事務担当に報告してください。この報告に漏れがあった場合、本事業において、採択の決定の取消し等を行う可能性があります。

#### ②過度の集中に対する措置

本事業に申請された研究内容と、他の競争的資金制度等を活用して実施している研究内容が異なる場合においても、研究者に配分される研究費等の経費全体が効果的・効率的に使用できないと判断される場合には、本事業において、採択の決定の取消し等を行うことがあります。

このため、本事業への申請書類の提出後に、他の競争的資金制度等に応募・申請し採択された場合等、記載内容に変更が生じた場合は、速やかに本事業の事務担当に報告してください。この報告に漏れがあった場合、本事業において、採択の決定の取消し等を行う可能性があります。

### (3) 競争的資金等の不正使用等に対する措置

日本学術振興会平成20年規程第3号「競争的資金等の不正使用等への対応に関する規程」に基づき、競争的資金等の適正な管理・運営及び不正使用等の防止のため、国際事業部の各種公募事業について、不正使用等(※1)を行った研究者等については、以下の措置を執るものとします。

※1ここでの不正使用等とは、競争的資金等をその交付の目的又は契約内容等に違反して使用すること及び偽りその他不正な手段により競争的資金等の交付を受けることをいいます(同規程第2条)。

- ① 不正使用等が明らかになった場合には、当該競争的資金等の交付を取り消すとともに、既に配分された研究費の一部又は全部を返還させる。
- ② 不正使用等を行っていた者が研究代表者として応募・申請している課題は採択しない。研究分担者となっているものについては、当人を除外しなければ採択しない。
- ③ 措置の対象者に対し、振興会の所管するすべての競争的資金等を一定期間交付しない。

なお、措置を決定したときは、原則として、措置の対象となった者の氏名・所属、措置の内容、不正使用等が行われた競争的資金等名、当該研究費の金額、不正使用等の内容及び研究機関等が行った調査結果報告等を速やかに公表します。

### (4) 研究活動の不正行為に対する措置

日本学術振興会平成18年規程第19号「研究活動の不正行為への対応に関する規程」に基づき、研究活動の公正性を厳正に確保するため、国際事業部の各種公募事業について、不正行為(※2)を行った者については、以下の措置を執るものとします。

※2ここでの不正行為とは、研究成果の中に示されたデータ、調査結果又は論文等の捏造、改ざん又は盗用等をいいます(同規程第2条)。

- ① 不正行為があったと認定された研究に係る競争的資金等を打ち切るとともに、既に配分された研究費の一部又は全部を返還させる。
- ② 不正行為があったと認定された者が研究代表者として応募・申請している課題は採択しない。研究分担者となっているものについては、当人を除外しなければ採択しない。
- ③ 措置の対象者に対し、振興会の所管するすべての競争的資金等への応募・申請を一定期間制限する。

なお、措置を決定したときは、原則として、措置の対象となった者の氏名・所属、措置の内容、不正行為が行われた競争的資金等名、当該研究費の金額、不正行為の内容及び研究機関が行った調査結果報告書等を速やかに公表します。

### (5) 関係法令等に違反した場合の取扱い

申請書類に記載した内容が虚偽であった場合や、関係法令・指針等に違反して研究計画を実施した場合には、本会から資金・経費等を支給しないことや、採択の決定を取り消すことがあります。